

令和7年度日本大学理工学部海洋建築工学科 総合型選抜
 ≪事前課題と当日の発表≫

以下の「事前課題」、「事前課題の提出方法」、「総合型選抜試験当日の事前課題の発表方法と発表資料」に関する説明をよく読み、必ず動画「総合型選抜 受験相談会」(YouTube 限定公開)を見てから解答作成作業をしてください。

● 事前課題

課題テーマ：『水辺にある癒やしの空間』

新型コロナウイルス感染症の回復期にある現在、街はこれまで通りの生活を取り戻しつつあります。しかし混み合いだした通勤通学の電車では、相変わらずマスクを着用する人がみられますし、人混みを避けたいという感情を抱く人も多いのではないのでしょうか。さらに猛暑や集中豪雨、自然災害などに不安を覚え、以前とは異なる世界を生きているように感じます。こうした中で、倦怠感を覚えたり、やる気が出ないことを訴える人が増えており、これらは広い意味で新型コロナウイルス感染症の後遺症と言えるのかもしれませんが。このような日常のストレスを低減するために、人々はなんらかの癒やしを求めています。例えばペットを飼う人や、自然豊かな森に出かけたくなる人が増えていますが、これらは、癒やしを求める感情の表れなのでしょう。

今回の課題テーマは、『水辺にある癒やしの空間』です。日常のストレスから解放されるため、例えば、遠くの風景をただ眺めるための空間や、川のせせらぎを聴くだけの空間などがあつたらと考えてみてください。湖畔に沈みゆく夕日を眺めるためだけの大きな窓のある空間なども良いですね。

『水辺にある癒やしの空間』を提案するにあたり、考慮すべき3つの特徴を以下に記します。これらに従って独自の工夫をしてください。

「特徴1:水辺にある」 ここで言う「水辺」とは、「海や湖、河川などに隣接している」ことを意味しています。なお、水面上は含まれません。本課題のテーマは、水辺にあるということの特徴とする「癒やし」の空間です。そのため、その空間の置かれる場所の特徴が重要です。心地よい空間となるように、対象とする水との距離や位置関係などを自由に発想してください。

「特徴2:癒やしの工夫」 水を使うことで得られる「癒やし」の効果を考えてください。これは広い意味で捉えてかまいません。例えば、外の雄大な流れを眺めるための大きな窓、水が底からこんこんと湧き出る水盤、または、きれいな音が奏でられる水琴窟を置くことなどを工夫としても結構です。あなたが考える「癒やし」の空間となるための独自の工夫を考えてください。

「特徴3:1つの空間」 ここで言う「1つの空間」とは、1回につき1人が入るたった1つの空間を指します。その空間内に、あなたが考える癒やしの効果が期待できる椅子をデザインし、1つだけ置いてください。空間の内部や外部の形状、高さや広さ、材質は「癒やしの工夫」に応じて自由にデザインしてください。置かれる椅子も同様に自由にデザインしてください。

上記の3つの特徴を満足する『水辺にある癒やしの空間』を提案し、課題①と課題②に解答してください。建築の専門的知識(構造、法規等)や、既存の施設にとらわれず、自由な発想、提案を期待します。

課題①

解答用紙A(1枚)に、次の(1)～(3)について記述してください。

- (1) 『水辺にある癒やしの空間』を計画する場所の都道府県・市区町村名および地名、特徴など
- (2) 敷地を選定した理由
- (3) どのような水の使い方(「癒やしの工夫」)に着目したか

解答用紙 B (1 枚) に、『水辺にある癒やしの空間』を計画する敷地に自身が訪れて撮影した写真 2 枚 (サイズは自由) を貼り付け、それぞれの写真について説明を記述してください。使用する筆記用具は自由です。実際に現地を訪れる際は安全に十分注意してください。

課題②

解答用紙 C (1 枚) に、次の (4) ~ (6) について記述してください。

- (4) 『水辺にある癒やしの空間』と周辺環境との関係性 (計画した場所にふさわしいか)
- (5) 『水辺にある癒やしの空間』の空間的特徴 (工夫した点)
- (6) 『水辺にある癒やしの空間』を通じて、あなたが考えたこと、伝えたいことなど

解答用紙 D (1 枚) に、あなたが提案する『水辺にある癒やしの空間』と水辺との関係が分かるイメージ図、および、『癒やしの工夫と椅子との関係が分かる内部空間のイメージ図』を描画し、それぞれの図に対して主な特徴を 60 文字程度で記述してください。なお、図・文字はパソコンやプリンターを用いず、必ず志願者本人が手書きし下さい。また、描画の際には、定規・コンパス等を使用してもかまいません。彩色方法は自由です。

● 事前課題の提出方法

- 1) 事前課題は、上記を解答用紙 (A~D) の 4 枚に納めて下さい。解答用紙は A~D までを 1 つに束ね、左上 1 カ所をクリップ止めにして提出してください。なお、事前課題は提出前に必ずコピーをとり各自で保管してください。
- 2) 提出期限は、《志願者の皆さんへ》(郵送資料①) を参照してください。
- 3) 事前課題の郵送は、同封したレターパックプラスを使ってください。郵送方法は同封の「課題 (レターパックプラス) の返送方法」(郵送資料④) の指示に従ってください。

● 発表資料の作成、および、総合型選抜試験当日の事前課題の発表方法

上記の「事前課題」をもとに、試験当日までに「発表資料」(A2 判 1 枚) を作成してください。これをもとにプレゼンテーションしていただきます。プレゼンテーションの内容と方法は以下の通りです。

- 1) 発表資料は以下の要領で作成し、試験当日に持参してください。この資料はプレゼンテーション終了後に提出していただきます (返却しません)。
 - ・ A2 判 (420mm×594mm) のケント紙 1 枚を、縦使いとします。用紙の表面右下に、受験番号と氏名を記載してください。なお、パネル加工はしないでください。
 - ・ 課題①および課題②で取り組んだ内容を踏まえて、自身が提案する『水辺にある癒やしの空間』について、発表用の資料として作成してください。
 - ・ 表現方法は自由です。説明文のほかに、スケッチや写真、図、表を使用するなど各自で工夫してください。
 - ・ 説明文は要点が分かるように記述し、文字の大きさは、約 1m 離れた所からでも見えるよう 1cm×1cm 程度以上を目安としてください。
- 2) 発表資料は、図・文字はパソコンやプリンターを用いず、必ず志願者本人が手書きして下さい。また、描画の際には、定規・コンパス等を使用してもかまいません。彩色方法は自由です。なお、印刷した写真の貼付は可とします。
- 3) プレゼンテーションの発表時間は一人 5 分間です。その後、質疑応答および口頭試問を行います。
- 4) プレゼンテーションの発表時にメモや原稿を参照および読み上げることはできません。また、指し棒は使用できません。

以上